



地域学校 協働 実践ハンドブック

学校協働ボランティア用



瀬戸市教育委員会

はじめに

未来を担う子どもたちは「地域の宝」です。しかし、少子化核家族化や社会構造の変化などにより、子どもたちが学校や家族以外の大人と関わる機会や地域とのつながりが少なくなっています。

そこで瀬戸市では、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てることを目的とした地域学校協働活動を推進し、子どもたちの生きる力や豊かな心を育むための体制作りを進めています。

多様な地域資源と子どもたちとを橋渡しする、^{※1}地域コーディネーターを配置し、地域ぐるみで効果的に子どもを育む地域学校協働活動を円滑に進めることができるよう、このハンドブックを作成しました。

このハンドブックを参考にして活動していただくことにより、子どもたちや学校、そして地域全体がさらに元気になっていくことを期待しています。

.....

※1 地域学校協働活動推進員を指します。

地域学校協働活動推進員とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第47条の6）※令和2年4月～：第47条の5に基づいた名称です。



目 次

コミュニティ・スクールにおける地域学校協働活動とは・・・ 1

地域学校協働活動の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

あなたにもできる！学校協働ボランティア・・・・・・・・ 3

活動を始めるにあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

活動の約束ごと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

よりよい地域学校協働活動のために・・・・・・・・・・ 6

学校協働ボランティアの活動例・・・・・・・・・・・・・・ 7



コミュニティ・スクールにおける 地域学校協働活動とは



子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。瀬戸市は「地域とともにある学校づくり」を推進しており、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入はその一つで、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを学校と地域住民が共有し、地域学校協働活動に生かすためのゆるやかなネットワークを構築していくことをねらいとしています。

地域学校協働活動は、地域や学校の特色の中でこれまでも行われてきましたが、コーディネート機能を加え、さらに幅広い地域住民や団体等の参画を得るために工夫し、多様な活動、継続的な活動を充実させていくための、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てることをねらいとした活動です。

例えば、学校の環境整備や登下校時の見守りなど、社会の変化に対応しながら、地域と学校が協働で活動を進めることによって、地域の方々の経験やその技術を生かす場にもなったり、活動を通して人のつながりも生まれ、地域の教育力も向上します。また、地域学校協働活動は、できる人が、できるときに、できることを自らの意思で主体的に行うことが基本です。





子どもたちにとっては



- 地域のみなさんとの交流により、コミュニケーション力や社会性が育ちます。
- 多世代の知識や経験により、多様な体験の場が増え、子どもたちの学習に対する興味や関心が高まります。
- 周りの人への安心感や感謝の気持ちが芽生え、地域への愛着がさらに深まります。

学校にとっては



- 保護者や地域住民と学校が、顔の見える関係となり、学校の環境整備が進んだり、校内、通学路の安全性が高まります。
- 家庭や地域との連携が一層深まり、社会に開かれた教育課程を充実させていくことができます。
- 学校・家庭・地域の適切な役割分担により、教職員が児童・生徒と向き合う時間の確保につながります。

保護者や地域住民にとっては



- 学校内はもとより、学校外でも子どもたちとあいさつをしたり言葉を交わすようになり、元気がもらえます。
- 身につけている知識や経験を生かせ、地域に貢献しているという満足感が得られます。
- 学校を中心に、多様な地域住民と一緒に活動することにより仲間が増え、生きがいづくりにもつながります。
- 地域の課題解決に向けた取組や、災害時の緊急対応に、地域と学校が一体となって取り組むことができます。

あなたにもできる！ 学校協働ボランティア



学校協働ボランティアは、子どもたちが健やかに育ってほしい、子どもを温かく見守りたい、という気持ちがあれば特別な資格はいりません。

『できる人が、できるときに、できることを自らの意思で主体的に行う』

ことが基本です。保護者の方はもちろん、地域にお住まいの方なら
どなたでも高齢の方や大学生也大歓迎です。



あなたの力を貸してください！



子どもたちの笑顔を見ると元気になります
地域の仲間と
楽しみながら
活動したいです



仕事が休みの
日だけですが
やる気は
あります！

得意なことを
学校や地域で
生かしたい



相談できる
地域の仲間を
作りたいね



子どもが大好きです
趣味や経験を生かして
楽しく活動したいね



地域の伝統技術
を子どもたちに
伝えたい

子どもたちの
見守りが
健康づくりに
つながります



特別な資格は
ありませんが
体力仕事には
自信があります



学校や地域でボランティア
を経験してみたい(大学生)



活動を始めるにあたって



- 各学校でボランティア登録をします。
 - ・登録方法は各学校によって違います。各学校にお問い合わせください。
 - ・登録の変更や取り消しはいつでもできます。
- 登録した学校の要請に応じて、約束ごとを確認してから活動します。
- 活動についての日程調整や詳細は、学校に配置されている地域コーディネーターを通して行われます。

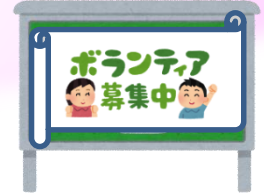
基本的な活動の流れ



活動の約束ごと



子どもたちと触れ合う機会の多い地域学校協働
活動での約束事を確認しておきましょう。



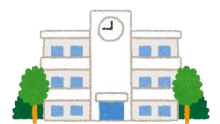
子どもたちとのよりよい接し方

- どの子にも公平に接し、子どもの声にしっかり耳を傾けましょう。
- おおらかな気持ちで接し、子どもたちの良いところをほめましょう。
- 丁寧な言葉遣いで、はっきり、ゆっくりと話すよう心がけましょう。



守らなければならないルールがあります

- ①名札の着用や職員室への声かけなど、学校のルールを事前によく確認し、ルールはしっかりと守りましょう。
- ②活動の中で子どもや先生の個人情報にふれることがあります。子ども一人一人を大切にするために、自分の家族などにも、活動中に知り得た情報はどんな小さなことでも話してはいけません。
- ③学校や先生、他のボランティアの批判などは、子どもの前でも、学校以外でも絶対に話さないようにしましょう。気がついたこと、気になることは、気軽に地域コーディネーターや学校の先生方に伝えましょう。
- ④決められた日課にそって学校での教育は行われます。指定された時間に指定された場所に集まっておくことは当然ですが、決められた時間内に終了することも心がけてください。





相談しましょう



子どもたちとの関わりの中で、困ったこと、わからないことがあるときには、気軽にコーディネーターや担当の先生に相談しましょう。

特に、落ち着きがない子どもや反抗期な子どもなどとの接し方を先生に学ぶことによって、子どもたちとよりよい関係をつくることができます。相談することで、お互いのコミュニケーションも図れます。



事前の打ち合わせ、ふりかえりを大切に

事前の打ち合わせには時間を要しますが、効果的な行動を行うためには欠かせません。学習の流れ、ボランティアの出番（どこで、なにを、どんなふうに、何分くらい）などについて話し合しましょう。

また、活動後のふりかえりも大切です。気づいたことを先生やボランティア同士で共有することによって、次の支援活動がさらに充実します。 ※打合せ用紙、ふりかえり用紙を用意すると便利！！



研修会にどんどん参加しましょう

研修会に積極的に参加して知識を高めたり、交流会などでお互い情報交換をしましょう。県や市町村が主催する講演会、フォーラム、報告会などが開催されます。これらに参加することで、ボランティアをしていく上での新たな知識や技能を得たり、疑問や課題を解決する機会となります。

また、交流会等でお互いの知識や経験を共有することによって、今後の活動に活かすことができます。





学校教育活動



読み聞かせ



琴の練習



まめなし学習



田植え体験



お茶会



作陶体験



もちつき体験

安全・見守り活動



登下校見守り



あいさつ運動

環境整備活動



草取り



花壇整備



図書の整理・修理

その他活動



職業講話



マナー講座



森の学習



さつまいもほり



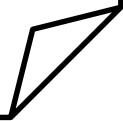
敬老会



うどんづくり



MEMO





地域学校



実践ハンドブック

学校協働ボランティア用

瀬戸市役所教育部学校教育課
〒489-8701 瀬戸市追分町64番地の1
0561-88-2760